

私たちは梨に示される愛情に関心があります。

複雑な成長条件、成熟になるまでの手間、収穫直後に市場で販売されるため、最後に優しく網状の梱包材に包装された梨はお客さんに迎えられ、販売される日を願っています。

これらのすべての場面は栽培された果実の物語のひとつです。

梨そのものが周辺地域、人々、自然、ネットワーキングと人間関係を語っています。

シャキシヤキ！

梨は地域にとって、とても大切で最初の一口から最後まで、水菓子のようにみずみずしくジューシーなデザートです。

梨は贈り物でもありながら、冷やして、そのまま食べてもいいし、一人で夜の星空を眺めながらでも。

ドニカ・マリ (DONIKE Marie)

荒尾梨談笑会

ヨハネス・スペクス
×
マリ・ドニカ

「私たちによるフードパフォーマンスを体験いただけます。
梨に興味を持っていただけたらと思っています。」

2023.11.12 (日)
14:30-16:30

定員25名 要事前申し込み 入場無料

会場：AIR motomoto ギャラリースペース

＜イベント予約＞

メール件名を「梨談会参加希望」とし
本文に以下を明記の上

kumamotomotomoto@gmail.com

までお送りください。

①参加者氏名 ②参加人数 ③代表申込者電話番号
※当日予約無しでも受入可能な席があれば参加可能
イベントの詳細は当館 HP、SNS にてご確認ください。



photo : KNOSPE Mandy

スペクス (SPECKS Johannes) とドニカ (DONIKE Marie)
2015年ユニット設立、ケルン、ドイツ在住
スペクス:2019 ドレスデン美術大学 ホーナ・マーティン
クラスマイスターシューラー 課程 修了
ドニカ:2016 ドレスデン工科大学 美術史学士号 課程 修了
ユニットとしての主な展覧会
GEGENWARTEN | PRESENCES プライベート・コレクターズ・
ルーム (ケムニッツ、ドイツ、2020)「骨と貝殻」(LWL 考古資料
館、ヴェストファーレン博物館 ヘルネ、ドイツ 2022)「トースト
への賞賛を呈す」(ヨゼフ・アルバース博物館、ポットロブ、ドイ
ツ)ZWISCHEN GEDECKTEM TISCH UND FARBE (カッペンベ
ルク修道院美術館、ゼルム、ドイツ、2023)

2019年にドイツのケルン市にユニットとして Boddenberg アートギャラリーを設立し、ドイツのアーティストの招聘を行い、施設のギャラリースペースでの展覧会、イベントを開催、施設はスタジオスペースとスタジオキッチン併設。

スペクスとドニカはドイツの制作活動時から、それぞれの活動において食べ物と食文化を重要視し、農家から消費者へたどり着く経路の研究を継続して行っています。食文化を通し、多くの他者とのコミュニケーションを大切にしてきました。本滞在では、荒尾のシンボルの一つ「荒尾梨」と「お歳暮」(贈り物の文化)を研究し続け、その体験と内容から着想得たインスタレーションを日本で初個展を開催します。

「私の作品は、人と接して会話をするきっかけだよ。」

「目の前で起きていることの一秒も見逃さないことだよ。」 ノウルズ・アリソン(アメリカ、作家)

これは、スペクス・ヨハネス (SPECKS Johannes) とドニカ・マリ (DONIKE Marie) のリサーチをに同行した際に思いついた言葉です。これまで両名は、土地が持つ特有の食文化や特産物を研究し、その特性を活かした芸術作品を作り出す試みを行っており、今回彼らは荒尾梨をテーマとし、梨が繋ぐ目に見えない人と人のネットワーク(コミュニティー)に着目し、リサーチを進めてきました。

贈り物としての荒尾梨、それに付随しお歳暮という日本独特の風習に関心を抱き、本施設 AIR motomoto では生産者から消費者までの間に出来る「コミュニティー」についての調査を9月から重ねています。

荒尾での滞在を元に、スペクスとドニカの梨に関する彼ら特有の表現が形になり始めています。

梨のコミュニティーは彼らが来日する以前から存在しましたが、両作家が関わったことによって、少しずつ周囲の人の発想や、梨に対しての思いへ変化を起していると言っても支障ありません。

スペクスとドニカは梨を通して、食文化、歴史、習慣だけではなく、人と人を結び付けること、そしてこのコミュニティーと日常の記録を残そうとしています。彼らの制作作業と成果展をご覧いただければ幸いです。

(AIR motomoto コーディネーター ヴアレリア・レイエス)

同時期イベント

一万田坑芸術祭

一跡地から生まれた現代美術

○梨談笑会 IN 万田坑

開館 11:00 ~ 16:30

万田坑前芝生エリア

○スペクスとドニカの梨のお菓子の
コラボレーション

ハローハロー、マンダコウ・スマイル

煙突茶会

作家：オーギカナエ

開催時間：13:30~16:30

開催場所：汽罐場煙突

※材料が無くなり次第終了・約20人分
お茶とお菓子を提供 / 参加費：500円